

報道関係者各位

東海北陸自動車道(飛騨清見IC～白川郷IC間)

開通から秋の行楽期までの交通状況

東海北陸自動車道の飛騨清見ICから白川郷ICまでの間(延長24.9km, 2008年7月5日(土)15:00に開通)の開通から秋の行楽期までの交通状況をこのたびとりまとめましたので、お知らせします。

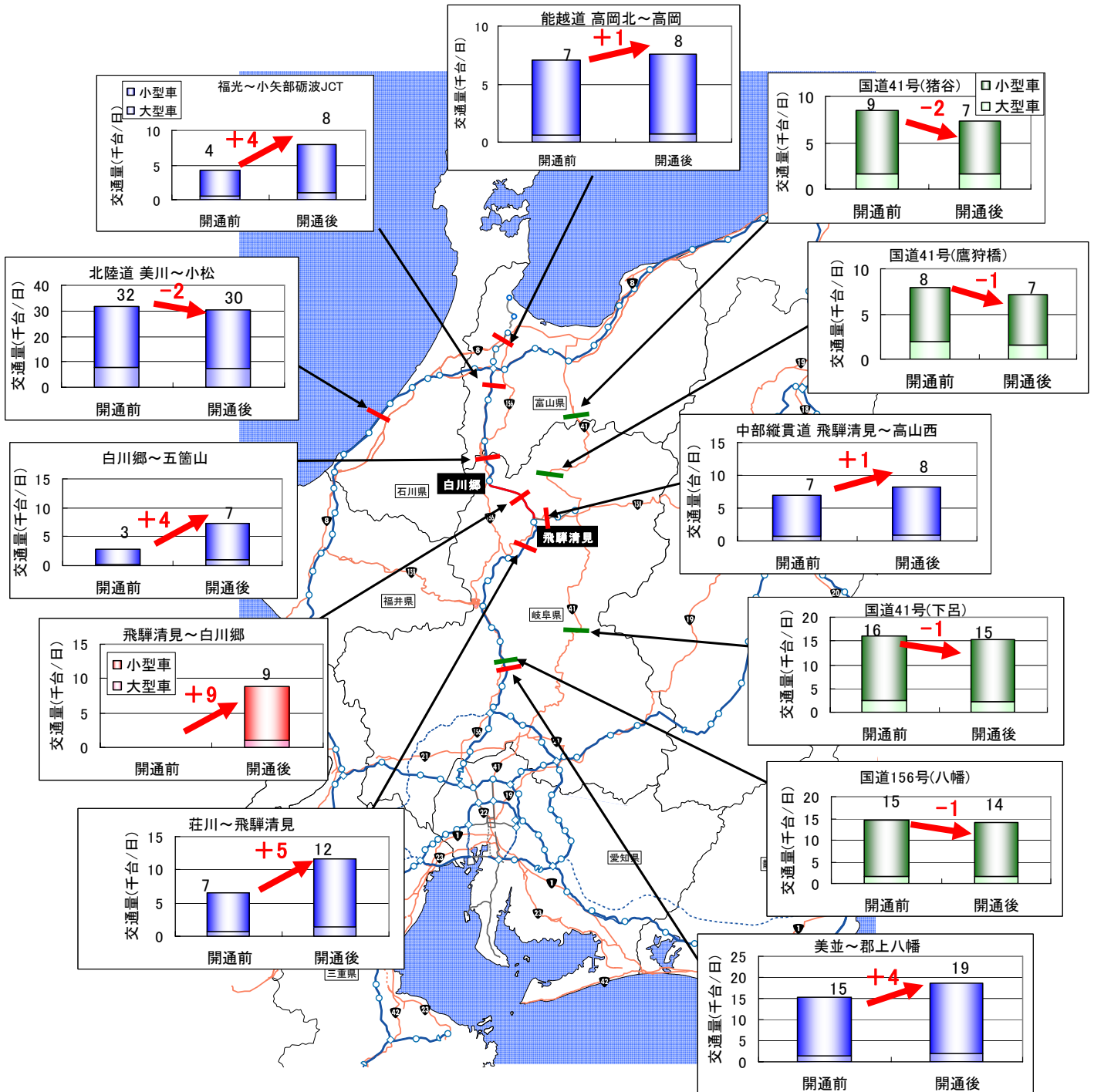
<ポイント>

- 東海北陸自動車道 飛騨清見IC～白川郷IC間の開通後の交通量は、平均約9千台/日(平日約7千台/日, 休日約12千台/日)でした。
- 秋の行楽期(10月1日～11月3日)の飛騨清見IC～白川郷間ICの交通量は、平均約9千台/日で、10月12日(日)にはこの秋最大の約19千台/日となりました。
- 飛騨清見IC～白川郷IC間開通後の東海地方と北陸地方との高速道路を利用した交流は増加しており、東海地方と金沢市域、富山市域間の利用のうち、飛騨清見IC・白川郷IC・一宮IC間との利用がそれぞれ4～5割程度となっています。
- 秋の高山祭り(平成20年10月9, 10日)における、東海北陸道の交通量は、昨年高山祭り期間中と比較すると約1.9倍～2.8倍となりました。また、中部縦貫道も、昨年の約1.2倍に交通が増加しました。
- 岐阜市の鵜飼観光の乗船人員数は過去10年で愛・地球博(愛知万博)に次ぐ多さとなり、東海北陸道全線開通後の今年は、前年に比べ約5千人増加しました。特に北陸方面からの来客は前年を大きく上回っています。
- 東海北陸道の全線開通後の白山スーパー林道の利用台数は増加傾向にあり、特に10月の3連休期間(平成20年10月11日～13日)の利用台数は前年同時期と比較して3倍の利用台数となりました。
- 富山県内の観光施設では東海方面からの利用者が増加しております。いなみ木彫りの里(道の駅井波)では7～9月の観光バス台数が増加し、特に東海地方からの台数が前年同時期に比べ3.4倍となりました。

同時発表 (資料配布)	中部地方整備局記者クラブ、中部経済産業記者会、富山県政記者クラブ、 石川県政記者クラブ、愛知県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ 高山市政記者クラブ
お問い合わせ先	中日本高速道路株式会社 広報室(マスコミ専用) TEL. 052-222-3628(直通) 国土交通省北陸地方整備局 道路部 地域道路課 課長 渡部 長務 TEL. 025-370-6742(直通) 国土交通省中部地方整備局 道路部 地域道路課 課長 花木 道治 TEL. 052-953-8170(直通)

1. 東海北陸自動車道及び周辺道路の交通量

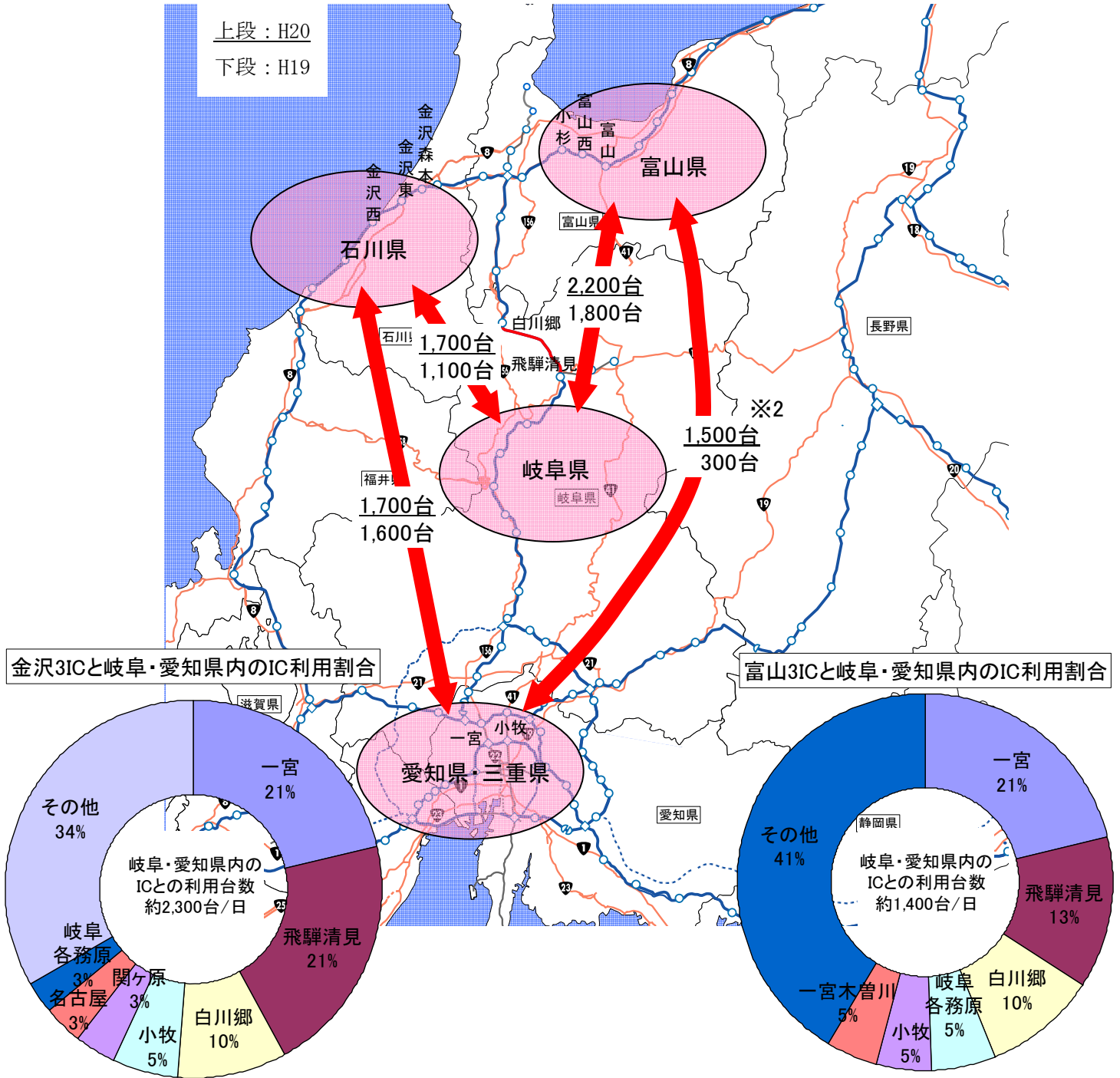
- ・開通翌日の平成20年7月6日（日）から11月3日（月）の飛騨清見IC～白川郷IC間の平均断面交通量は約9千台/日 [平日平均約7千台/日, 休日平均(土日, 祝日)約12千台/日]でした。
- ・東海北陸道と接続する中部縦貫自動車道と能越自動車道でも、開通前と比較してそれぞれ約2千台/日、及び約1千台/日の交通が増加しました。



※交通量計測装置によるデータを速報値として記載。
 ※飛騨清見IC～白川郷IC 開通前は、平成19年7月8日(日)から11月5日(月)までの日平均交通量を記載。
 ※飛騨清見IC～白川郷IC 開通後は、平成20年7月6日(日)から11月3日(月)までの日平均交通量を記載。

3. 開通後の各地域のIC間交通量

- ・ 飛騨清見IC～白川郷IC間の開通後、東海地方と北陸地方の各IC間交通量は増加しており、高速道路を使った交流が進んでいると考えられます。
- ・ 富山市への主な出入口となる富山IC、富山西IC、小杉ICと東海地方のICの開通後の利用状況は、名古屋市への主な出入口となる一宮ICで約2割、飛騨清見・白川郷で約2割となっています。
- ・ 金沢市への主な出入口となる金沢西IC、金沢東IC、金沢森本ICでは、飛騨清見・白川郷で約3割、一宮ICで約2割となっています。
- ・ 富山市、金沢市ともに観光需要の高い高山市や白川村との結びつきが顕著となっています。



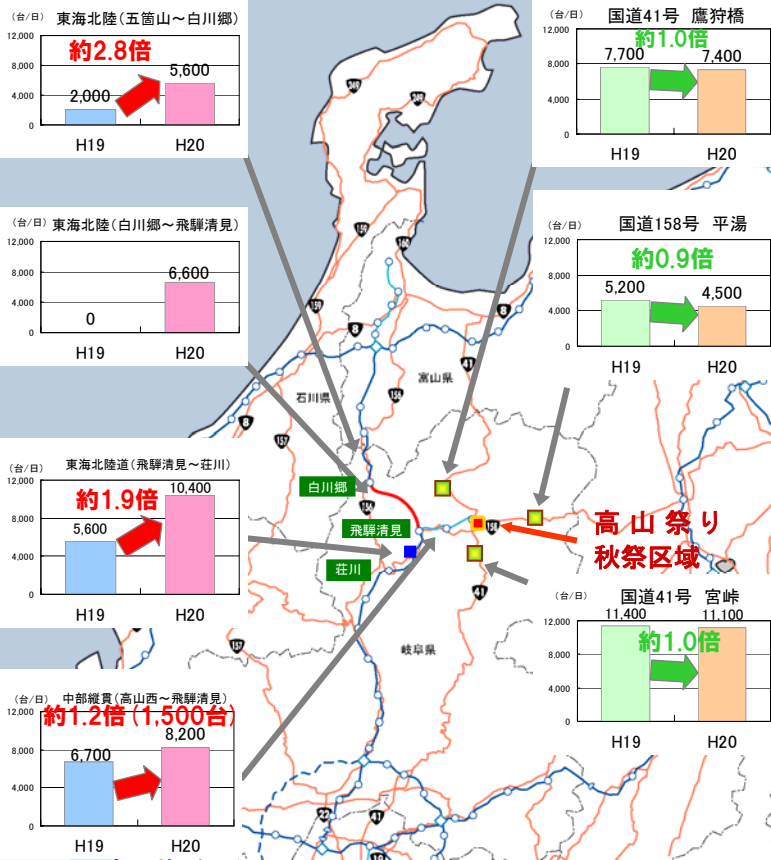
※1 開通前 平成19年7月8日(日)～平成19年10月2日(火)までのデータを使用
開通後 平成20年7月6日(日)～平成20年9月30日(火)までのデータを使用
いずれも北陸道、東海北陸道両ルートの合計値

※2 平成19年では、他地域から荘川ICなどを經由して白川郷ICで乗り継いでいる車両が存在すると考えられるが、すべて白川郷IC(岐阜県)として取扱っている。

4. 高山祭りでの交通状況

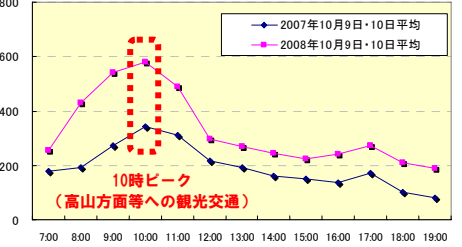
- 東海北陸道の交通量は、昨年の高山祭り期間と比較し、約1.9倍～2.8倍の伸びを示しています。また、東海北陸道と高山市内を接続する中部縦貫道でも、昨年の約1.2倍・1.5千台/日の交通が増加しました。
- 東海北陸道（荘川～飛騨清見）の朝のピークは10時で、夕方のピークは16時であり、名古屋方面から高山方面等への観光交通が顕著です。

【東海北陸道、中部縦貫道の交通量の変化】

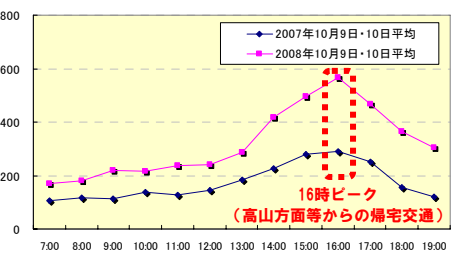


東海北陸(荘川～飛騨清見)

【全車】名古屋方面⇒高山方面等



【全車】高山方面等⇒名古屋方面



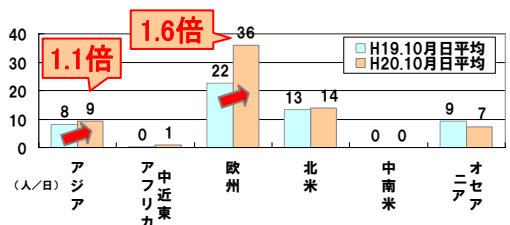
調査日
 H19年:10月9(火)・10(水)日平均
 H20年:10月9(木)・10(金)日平均
 出典:NEXCO中日本データ 国土交通省データ

トピック

- 飛騨高山観光案内所の外国人向け案内件数(10月の日平均)は、前年に比べアジアは1.1倍に増加、欧州では1.6倍と大きく増加しました。
- 高山の主な宿泊施設の約2割は、外国人宿泊者でした(主にアジア、欧州が多い)。

【飛騨高山観光案内所外国人向け案内件数】

■10月の日平均外国人案内数



案内所への外国人からの問い合わせは昨年より約2割くらい増えたと思う。

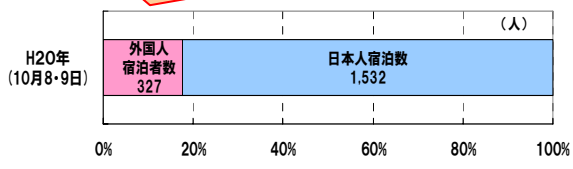


出典:飛騨高山観光案内所 ヒアリング

※H20年10月は17日までの集計値
 出典:飛騨高山観光案内所

【高山の主な宿泊施設の外国人宿泊者割合】

18%(アジア:89人 欧州:155人 北米:52 その他31人)



◆ 高山市内 宿泊施設のコメント

●高山→金沢→京都→東京というコースが定着してきている。

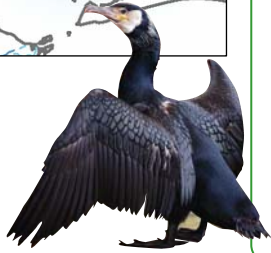


高山祭の状況

※主な宿泊施設:ホテル6社
 出典:国土交通省アンケート調査結果

5-1. 長良川の観光状況（鵜飼）

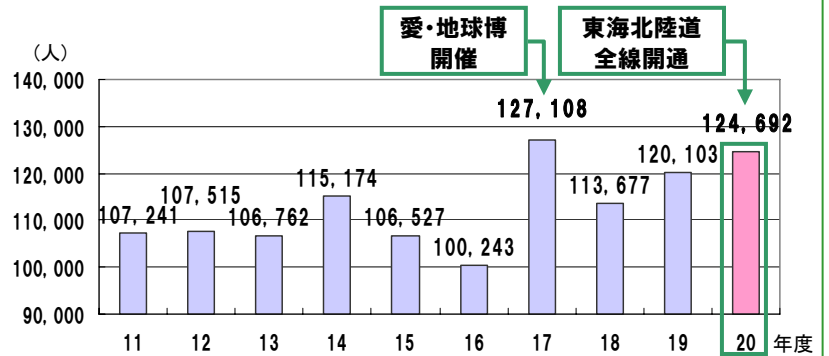
- ・ 岐阜市の鵜飼観光の乗船人員数は過去10年で愛・地球博（愛知万博）の年に次ぐ多さとなりました。東海北陸道全線開通後の今年（2020年）は、前年に比べ約5千人増加しました。
- ・ 乗船客数が北陸方面の2.4倍をはじめ近隣地域あるいは海外からの来客が増加しています。
- ・ 特に北陸方面からの来客は東海北陸道全通以降、前年を大きく上回っています。（8月・9月は約3倍、10月は約5倍）



出典：岐阜市

過去10年で愛・地球博（愛知万博）の年に次ぐ多さ

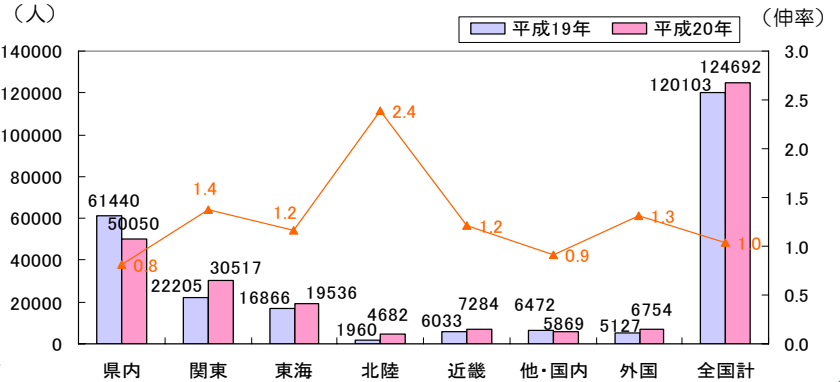
【長良川鵜飼乗船人員の推移（年度別）】



出典：岐阜県鵜飼観覧船事務所

東海北陸道全線開通後の今年（2020年）は、前年に比べ約5千人増加

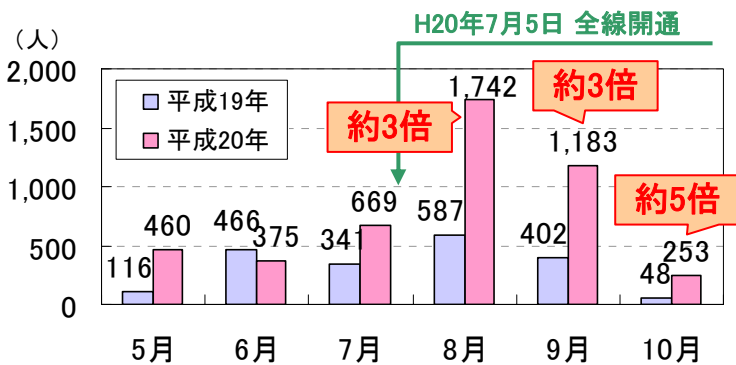
【長良川鵜飼観覧船乗船客数（方面別）】



出典：岐阜県鵜飼観覧船事務所

北陸方面からの来客は全通以降、前年より大きく増加

【北陸方面からの乗船人員推移（月別）】



出典：岐阜県鵜飼観覧船事務所ヒアリング



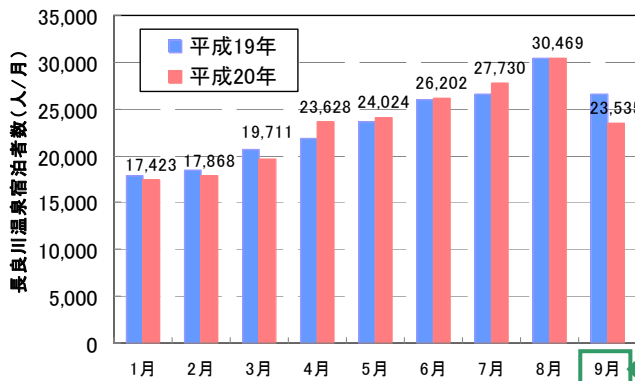
▲鵜飼

出典：岐阜市

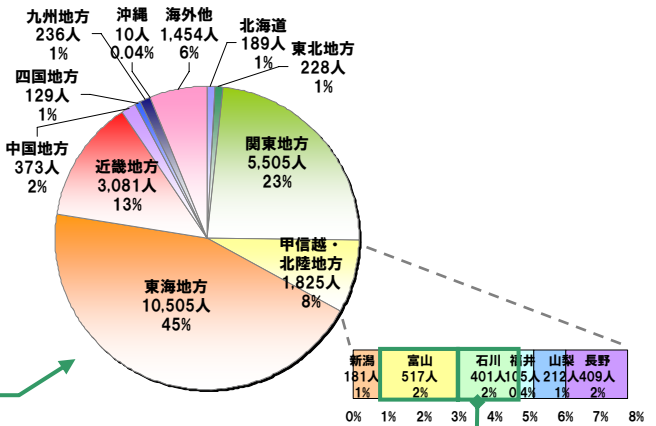
5-2. 長良川の観光状況（長良川温泉）

- 岐阜の鵜飼観光近郊に位置する長良川温泉では、9月の宿泊者数が前年同月に比べ減少しているが、富山や石川からの宿泊者（累計）は、前年の1.2倍に増えています。

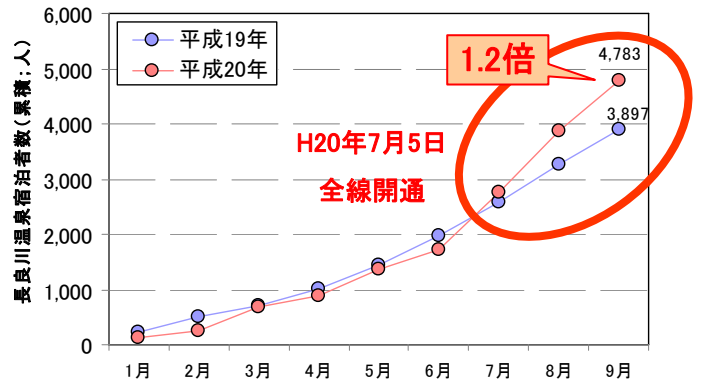
【長良川温泉宿泊者数の推移（月別）】



【長良川温泉出身地別宿泊者数平成20年9月】



【富山・石川からの長良川温泉宿泊者数の累計（月別）】



▲長良川温泉

出典：岐阜長良川温泉旅館協同組合HP

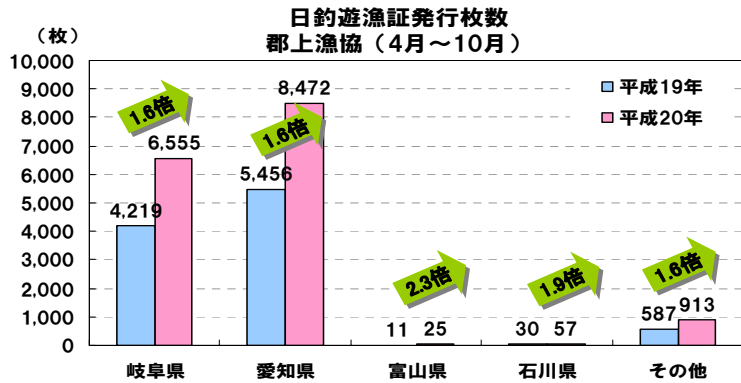
出典：岐阜長良川温泉旅館協同組合ヒアリング

6. 郡上漁協の観光状況

- 郡上漁協では、漁場へ入る前に必要な手続きである遊漁証の申請が、前年より増加し、特に富山や石川からは約2倍近く増えています。



【遊漁承認証（遊漁証）発行前年比】



北陸方面からの申請は、開通後増えています。電話での問い合わせも、以前は北陸方面の方からは全くなかったのですが、今年は何件か受けています。開通効果は有りと感じています。



※遊漁承認証（遊漁証）：河川等の決められた区域内において、遊漁（釣り等）をする権利証

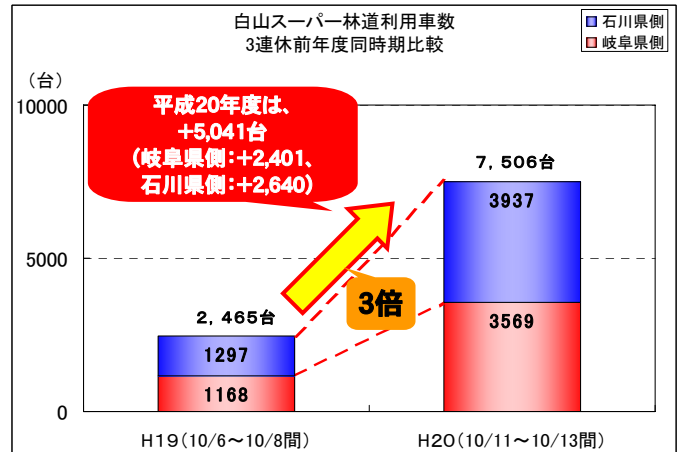
出典：郡上漁業協同組合ヒアリング

7. 白山スーパー林道利用車数の状況

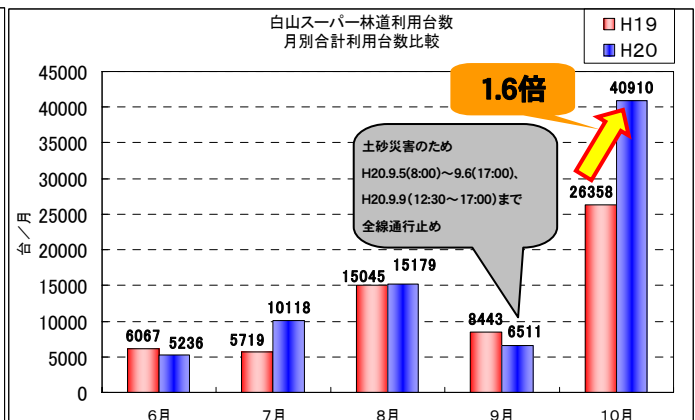
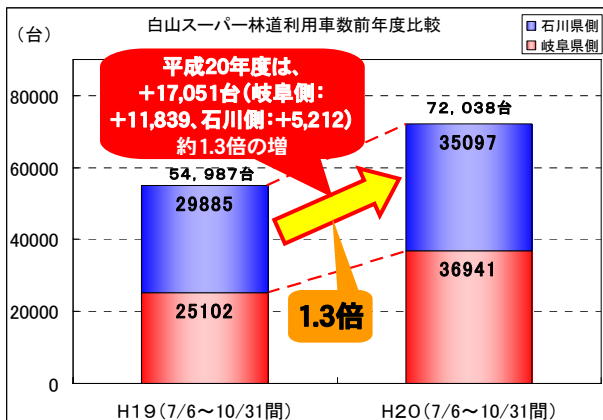
- ・全線開通後から10月までの白山スーパー林道の累計利用台数が550百台→720百台と前年同時期に比べ1.3倍となりました。特に紅葉時期である10月は前年同月比で1.6倍となりました。
- ・10月11日～13日の3連休期間では、前年同時期に比べ3倍の利用台数となりました。



10月の3連休期間中の白山スーパー林道の利用状況



東海北陸自動車道全線開通後の白山スーパー林道の利用状況



出典：白山林道石川管理事務所ヒアリング

● 白山林道石川管理事務所へのヒアリング結果

- ・昨年の紅葉シーズンと比べると交通量は確実に増加している。特に岐阜県側からの流入が多く、東海地方から訪れた車が目立っている。また、岐阜県側から石川県側に通り返る利用客も増えたように感じる

■ 白山スーパー林道の利用状況



石川県側料金所付近(H20.10.21撮影)



岐阜県側料金所付近(H20.10.21撮影)

【10月21日(火)現地調査結果】

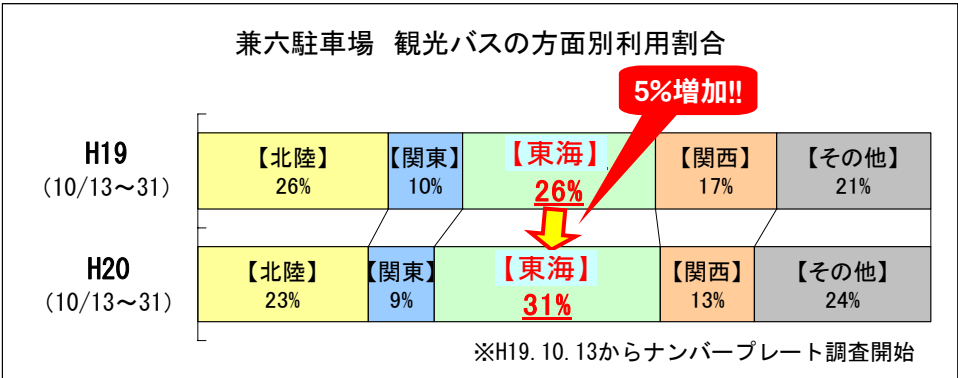
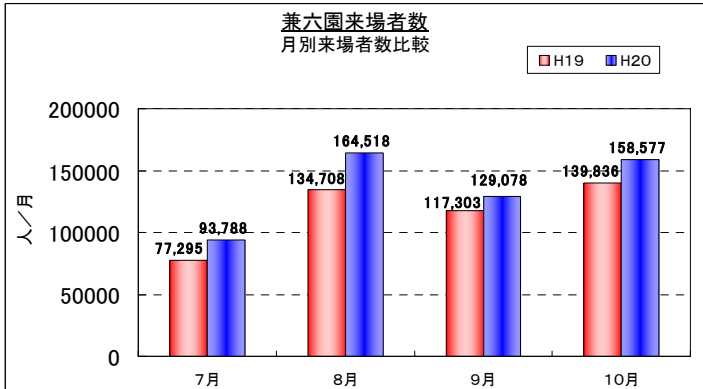
H20.10.21(火)の白山スーパー林道利用台数は、2,118台(岐阜側1,255台、石川側863台)でした。
前年同時期(H19.10.23(火))に比べ岐阜県側の交通量は約2.6倍増、石川県側は約1.7倍増、合計で約2.1倍増となりました。

8. 石川県内の観光施設（兼六園、のとじま臨海公園水族館）の状況

- ・ 兼六園では来場者数が全線開通後から毎月前年同月比で1.1倍以上となりました。
- ・ 兼六駐車場を利用する観光バスの方面別利用割合（10月）は前年同月に比べ東海地方が5%増加となりました。
- ・ のとじま臨海公園水族館では全線開通後から9月までの間に東海地方からの来場者数が約15千人→約33千人と前年同時期に比べ2.1倍となりました。特に、岐阜県からの来場者数が前年同時期に比べ2.6倍となりました。

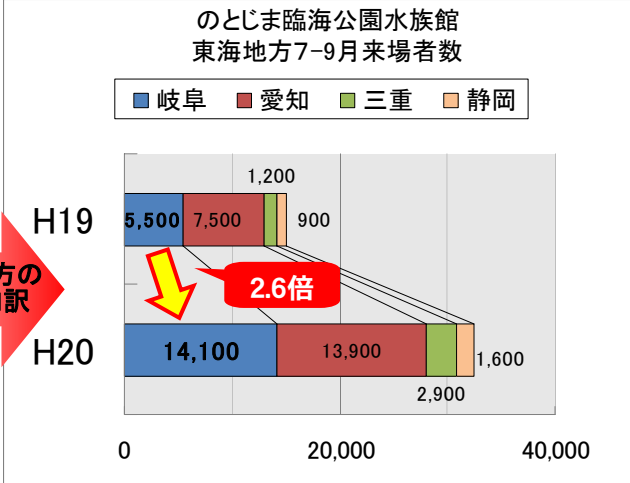
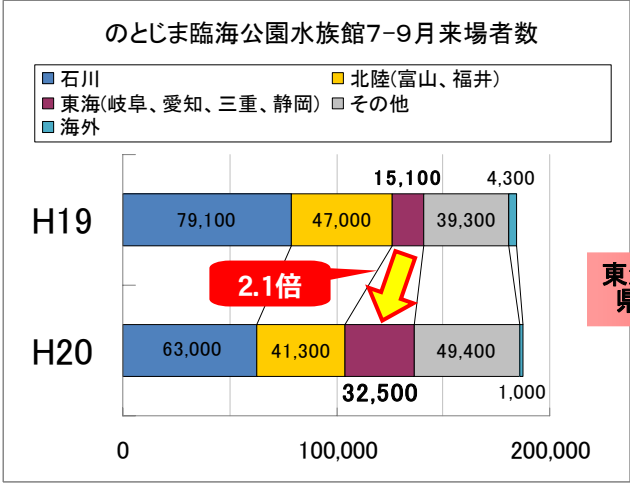


東海北陸自動車道全線開通後の、兼六園来場者数の変化



出典：石川県県民ふれあい公社ヒアリング

東海北陸自動車道全線開通後の、のとじま臨海公園水族館来場者数の変化



注) 上記表は毎月1週間程度の窓口調査により方面別の人数を換算

出典：のとじま臨海公園水族館ヒアリング

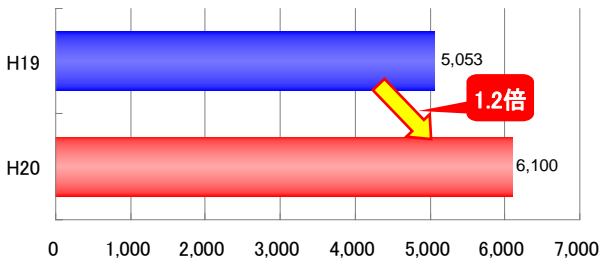
9-1. 富山県内の観光施設（富山県東部）の状況

- ・立山黒部アルペンルートの観光客のうち、7～10月の駐車場利用台数は前年に比べ総台数ではやや減少していますが、東海地方からの利用台数は1.2倍となりました。
- ・黒部峡谷鉄道トロッコ電車では、7～9月の乗客数が前年比1.1倍となりました。



立山黒部アルペンルート、黒部峡谷鉄道トロッコ電車の来場数が増加

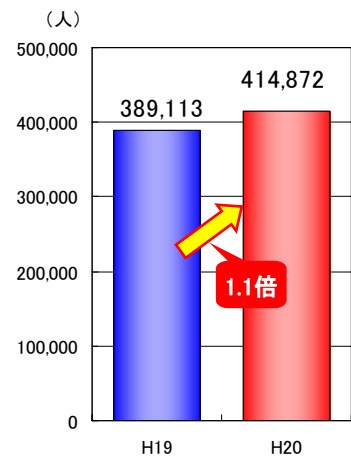
○東海地方からのマイカー合計（7～10月合計）



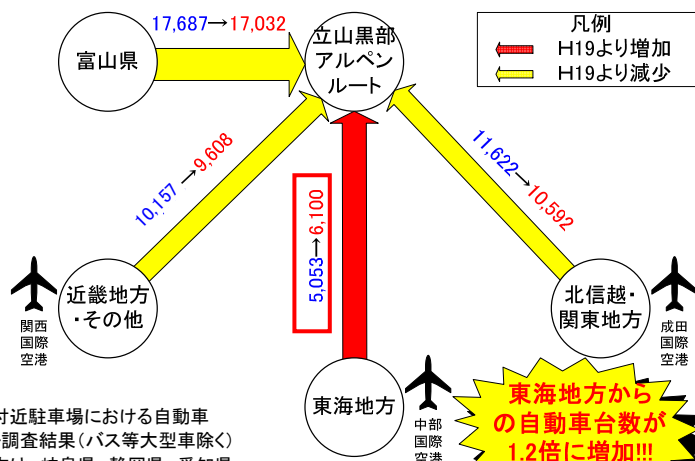
駐車場総利用台数
H19: 44,519台
H20: 43,332台



○トロッコ電車乗客数（7～9月合計）



○マイカー利用観光客の方面別構成比（7～10月）



注1) 立山駅付近駐車場における自動車ナンバー調査結果(バス等大型車除く)
注2) 東海地方は、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の4県としている。

東海地方からの自動車台数が1.2倍に増加!!!



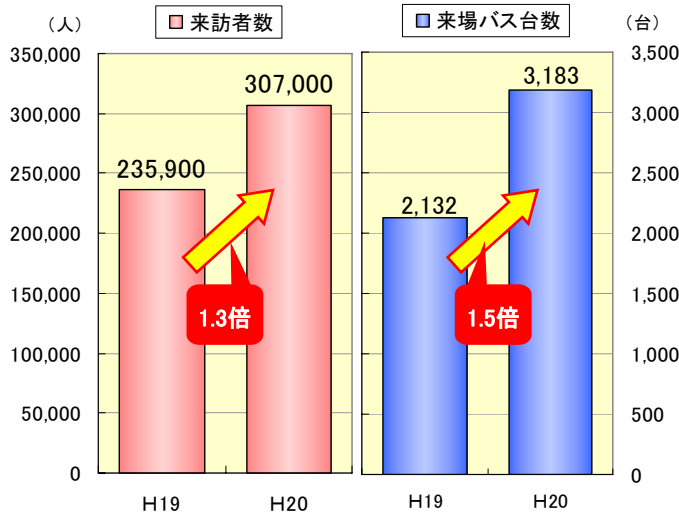
写真:トロッコ電車

9-2. 富山県内の観光施設（富山県西部）の状況

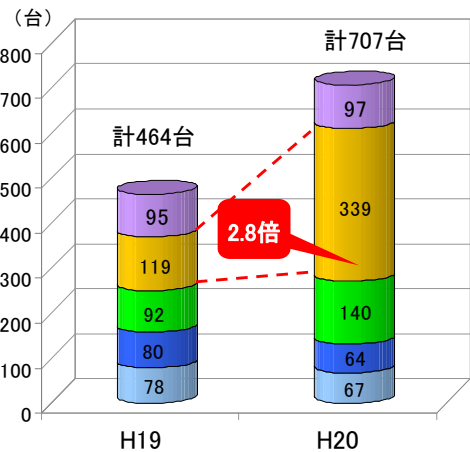
- ・道の駅氷見（氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館）では、7～10月の訪者数が前年同時期に比べ1.3倍、来場バス台数が1.5倍となりました。特に日曜・祝日の来場バス台数では、東海地方からのバスが2.8倍となりました。
- ・氷見市の民宿の宿泊客が1.1倍となり、氷見市の民宿の日帰り客が1.2倍となりました。
- ・いなみ木彫りの里の観光バス台数が増加し、特に東海地方からの台数が3.4倍となりました。

道の駅氷見（氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館） 来訪者数・バス台数が増加

フィッシャーマンズワーフ来訪数（7～10月合計）



氷見フィッシャーマンズワーフ来場バス台数
（車籍地別 7月～10月（日・祝日）合計）



- その他
- 東海(岐阜、愛知、三重、静岡)
- 信越(新潟、長野)
- 北陸(石川、福井)
- 富山

観光バス入込台数
（キトキトまつり開催日のみ）

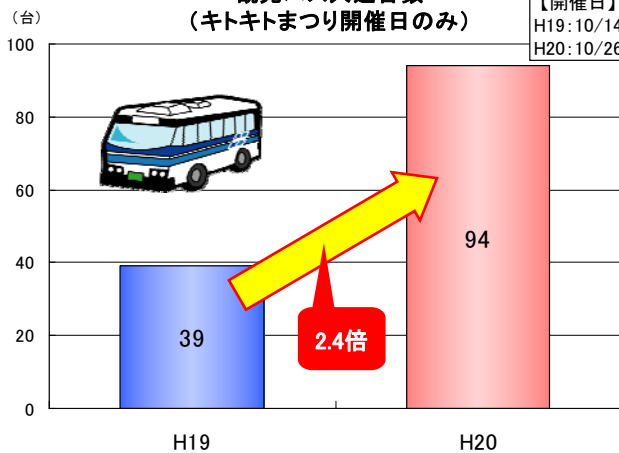
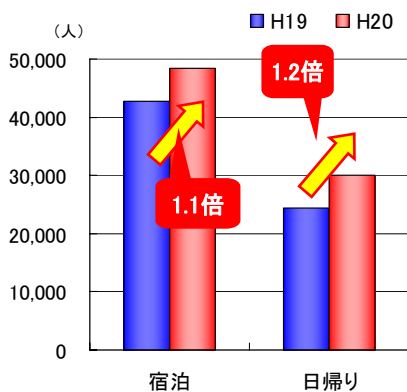


写真: H20氷見キトキトまつりの様子

出典: 氷見浜観光(株)ヒアリング

氷見市の民宿の来客者数が増加

民宿の来客者数(氷見市内対象 7～9月合計)

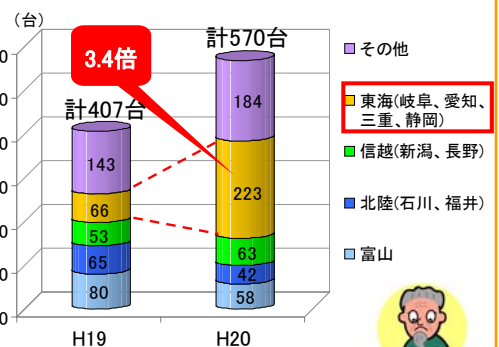


昨年に比べ東海地方からの来客が増え、岐阜県が一番多く、愛知県と静岡県も多いと感じます。
(氷見市民宿)

出典: 氷見市観光協会ヒアリング

いなみ木彫りの里の来場バス台数が倍増

いなみ木彫りの里 来場バス台数
（車籍地別 7月～9月合計）



出典: いなみ木彫りの里(道の駅井波)ヒアリング